



暑さ寒さも彼岸まで

とは、言われますが、今年は、まだ寒い日が続いています。先週あたりから、グラウンドでは、各学年や学級で思い出作りのレクリエーションが行われています。休み時間も外遊びをする子供たちがたくさんいますが、6年生のいない学校は静かで、グラウンドは広くなった気がします。明日、修了式を迎えます。

【チューリップは、ようやく開き始めました。】



学校のこれから

学習指導要領の改正により、教育の変革が大きく進められようとしている時期に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けました。今年度は、ようやくその制約がとれました。しかし、これをもって、学校生活が新型コロナ以前(4年前)のように戻ることは、もうないと言ってもよいでしょう。

先日の学校だよりで、学校では次年度の計画を進めているとお伝えしました。

学校では、教職員の働き方改革を進めます。現在、学びの在り方が大きく変わり、それに対応するための教員の研修の必要性が極めて高い状況があります。先生たちが学ぶ(研修する)時間を作る必要があります。これからの時代を生きていく子供たちに求められる力を身に付けさせるために、子供たちの学びを充実させて、よりよい教育活動を行うためには、教員の仕事をスクラップさせ空き容量を作り、余裕をもたせることで新たな試みやアイデアにつなげる必要があると考えています。

先生たちの中には、「働き方改革を進めると言うのと、先生たちが楽しようとしていると考えられてしまうのではないか。」と心配する声もあります。「そうではありません。今までが異常だったのです。」と伝えています。朝7時には学校へ来て、夜8時、9時まで仕事をする。中学校であれば、土日にも部活動の指導がある。小学校は空き時間なし、休み時間や給食は急いで食べてテストの採点、ドリルの点検、子供を見守る。気になることがあれば、お家の方へ連絡することもあり、場合によっては夜になることもある。これでは、なかなか心に余裕はできません。先生がイライラしたり怒りっぽくなったり…では子供のためにいい訳ありません。

先生たちが心と体に余裕をもって、笑顔で子供と接すること。心に余裕があれば、子供の様子を敏感にとらえる、子供の反応をおおらかに受け止めて考えることができます。

今までの学校の在り方を考えると、こういった変革は先生たち自身もご家庭の皆さんも受け入れることが難しいとは思いますが、前向きに進めていきたいと考えています。幸いなことに、本校では保護者の皆さん、地域の皆さんのご理解とご協力を得ることができ、着実にこういった取り組みが進んでいます。本当にありがたく、感謝しています。

今後も、保護者の皆さんからもご意見やアイデアをお寄せください。

今年度最後の給食は…ケチャップライス、牛乳、うす焼き卵、クラムチャウダー、ガトーショコラ でした。おいしかったかな？



19日(火)、PTA本部役員の方々による来年度へ向けての話合いが行われました。こんなに力強く温かい皆さんとなら、来年度もまた頑張れるという思いを強くしました。今年度も工夫を凝らして活動して下さった各種委員会の皆さん、本部役員の方々、本当にありがとうございました。

